令和６年４月５日（金）
小平市立小平第二中学校
学校長　　吉田　功

令和６年度　学校の部活動に係る活動方針

１　学校における部活動の方針

生徒一人一人が主体的、意欲的に部活動に参加することで、「自己の力量・技量の向上」「努力することによる達成感や充実感」等を得られる活動となるよう、本校では以下の方針を掲げる。

（１）部活動と学習活動の両立を目指して日頃から集中と切り替えを実践し、合理的で効果的な活動を展開する。
（２）互いに競い、励まし、協力する中で友情を深めるとともに、学級や学年を離れて仲間や指導者と密接に触れ合うことで学級内とは異なる人間関係を養う。
（３）部活動顧問は、技術指導による競技力や技術力の向上の他、生活指導・学習指導にも積極的に関わり、部員一人一人の学校生活が充実したものとなるよう指導する。
（４）参加する大会・競技会・コンクールでの上位進出を目指すことで多くの生徒が成功体験を得るようにし、自己の進路実現の糧となるよう、より一層の部活動の活性化を図る。

２　適切な休養日等の設定方針

（１）学期中は、週当たり２日以上の休養日を設ける。（平日は少なくとも１日、週休日は少なくとも１日を休養日とし、休養日が確保できなかった場合は、他の日に振り替える。
（２）長期休業中の休養日の設定についても、学期中に準じた扱いを行う。また、生徒が十分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設ける。
（３）１日の活動時間は、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行うよう設定する。目安として、長くとも学期中の平日では２時間程度、週休日（祝日等を含む）及び長期休業中は３時間程度する。ただし、活動時間には、準備、片付け、休憩時間は含めない.

３　各部の活動計画

運動部　　野球・サッカー・テニス・バスケットボール・バドミントン・卓球・
　　バレーボール 、陸上競技
文化部　パソコン・放課後クラブ（G組）・家庭科・吹奏楽・演劇・美術